

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス れもんkids		公表日		2025年 3月 7日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4		・適切である		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4		・トイレ、手洗い、入ってはいけない場所など絵で表示を行っている。	・一部屋カギがかかるようになっている。事前に約束し内カギしないようルールを知らせている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4		・清潔を保っている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		・静かに学習したり、粗大的に動く事ができる部屋が別で設けられている。 ・子供の気持ちを汲み取り、個別の部屋をいつでも使えるようにしている。戸が折れ戸なので半分開きで視界を完全に防がないように配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4		・利用者の帰宅後、振り返りの時間を設け、次の支援に繋げるよう話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4			オープンしたばかりのため今後改善に努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4		・利用者への接し方や業務的に改善したいところがあれば都度話し合いをしている。 ・その都度、問題点が起きた場合は連絡、相談できる話しやすい環境を設け改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			オープンしたばかりのため次年度より評価結果を業務改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4		オンラインや外部研修を定期的に行っている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4		・5領域をもとに支援プログラム作成され公開済である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4		・子供の発達全般や障がいの特性の理解のもと何が得意で何が苦手なのか学校での困り感などもとに計画をたてている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4		・個別支援計画書を基に共通理解するよう都度話し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		4			職員ミーティングで共有され支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4		・絵カードの使用、興奮時のクールダウン室など構造化が図れている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4		・新ガイドライン、個別支援計画に添って5領域に合わせて設定している。ホームページ上で支援プログラムや月間プログラムを公表している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		3		・活動プログラムの立案の前に必ずプログラムに入れたい事を児童に聞き検討している。 未回答1	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・人を変えてプログラムを組んだりネットや他事業所のプログラムを参考にするなどしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団活動の時間を毎日設けコミュニケーション能力が養えるようにしたり、ルールを守る経験や自分で考えて行動する力など養えるように計画、支援している。(当番活動・感情等コントロールできるスキルの積み重ね・制作活動等)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・毎朝、朝礼で打ち合わせをおこなっている。	・できない事もあるため時間を作っていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			・送迎や記録で時間が取られることがあるため時間の工夫を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日誌をつけて日々の反省をもとに記入し改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・モニタリングを行った後は職員全員で利用者の情報を共有し支援に役立てている。 ・定期的に保護者、関係機関を交えて話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		・子供が主体となるように促し、様々な経験や活動ができるように行っている。 ・動物との交流、クッキング、戸外活動。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4		・遊び、チーム分け、ルール決めなど活動の中で自己選択できるようにしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者の参加や児童への支援内容がわかる資料の準備を行っている。 必要時は児童指導員の参加を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・必要時に協力して頂けるように医療機関との契約や第三者機関として保育所との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・学校の年間計画を確認し連携を取るようにしている。	・日々のお迎えで意見交換、情報交換がもつとあると良い。下校時刻の変更等は保護者の方の協力が必要となる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1		・学童との情報共有を行っている。 未回答3	・対象者がほとんどおらず評価が困難。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			未回答4	・立ち上げたばかりのため、該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			・今後検討したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			・今後検討したい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4			・今後検討したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・何かあった時には都度、保護者に伝え共通理解を持つようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・必要な情報は提供に努めている。 未回答1	・今後検討し実施したい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明しているが不十分なところがあるため玄関に設置をしていつでも確認できるようにしている。	・契約時の説明だけでは足りないと思われる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・担当相談員、親御さん、本人の気持ちの聞き取りを行っている。モニタリングの際には本人に同席してもらい気持ちを話してもらっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			・短い時間での対応となることが多いため時間に余裕がある親御さんに対しては時間を取って対応できるように工夫していく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・対面であったりLINEでいつでも相談や困りごとを言ってもらえるように工夫をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				・今後予定していきたい。 ・今後検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・玄関にご意見箱と記入表を設置している。	・まだ苦情はないが今後あった場合は真摯に受け止め適切に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・ホームページに日々の活動を発信している。 ・LINEを活用し保護者へ活動報告を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報のファイルは職員の部屋で扉のある棚で管理をし、取り扱いについては職員間で共有し対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・LINEや電話対応で連絡を取るよう工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				・今後取り組んで行けるようにしたい。 ・今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・R7.1月地域の防災訓練に参加し対策の強化を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・災害の種類によっては避難場所が最善ではないと思われるため避難場所候補をあげている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			・内服開始されたことが共有されていないケースがあったため会議の際には確認させて頂いている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1		・偏食のお子さんに対してはおやつをあげる際は食物アレルギーに注意している。 ・対象児童はいないが食事中など身体の異変などは観察している。未回答3	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・自治体が開催する研修等への参加を実施している。	・外部研修が午後が多いため動画を活用している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・ファイルに綴り見える場所に設置をしているが可能な限り契約時にお伝えをしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・記録を取り改善策を決めたら経過観察を行い評価している。	ヒヤリハットが起きた際には職員全員で安全対策や利用者への声掛け等を考え再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・自治体の開催する研修会に参加したり、事業所内での研修を行っている。マニュアルも設置している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		未回答2	・身体拘束の勉強会、振り返りを行ったが対象児童はいないため評価困難である。	